

千城台東小学校 1年生活科 出前授業「いろいろあるね日本の遊び」の指導略案

1 本単元の指導書のねらい

昔遊びを知りたい、上手になりたいという思いを膨らませ、願いに向かって遊びを表現して、工夫しながらみんなで楽しく遊ぶことができる。

2 本時の授業ねらい

本時の授業のねらいを、古くから日本に伝わる「昔遊びの良さ」に気づくとした。そのために以下の3点を具体的な手立てとして設定した。

- ア 教科書にあるような「昔遊びカード」と「今の遊びカード」を多く作成し、今の遊びと昔遊びを比べて分類することによって、昔の遊びと今の遊びの違いに気づかせていきたい。
- イ 児童に自作させる題材として「紙とんぼ」を取り上げて、身近にある紙とストローという素材で簡単に作って遊ぶことによって、昔遊びへの興味関心を高めていきたい。
- ウ 竹とんぼの製作や自分で作った道具の体験を通して、昔の子供達は自ら遊びは自分で工夫しながら作ってきたという昔からの風習に気づかせていきたい。
- エ 作った紙とんぼがどのようにしたら高く飛ぶのかを自分たちで工夫して考えさせることによって、3年生以降で学習する社会科や理科の思考力の育成へとつなげていきたい。

3 指導略案 ○教師の発問や説明 ◎教師の活動 ・児童の発言や活動

教師の活動や発問	児童の活動や予想される発言	資料
<p>1 今日は昔遊びの学習をすることを伝え、児童には、室内遊びは何をしているか、誰と遊ぶか、昔遊びはしたことがあるかを尋ねる。</p> <p>2 教師が子供の頃に遊んだ「昔遊びカード」でコマを紹介して教師が実演して見せて、昔遊びへの興味関心を高めるようにする。</p> <p>3 もっと昔遊びを紹介することを伝え「昔遊びカード」と「今の遊びカード」を混ぜながら、何枚も黒板に貼っていき、児童によく観察するように促す。 ○どれが昔遊びで、どれが今の遊びなのか話し合う。 ○数名の児童に、2つの遊びの仲間分けをするように指名する。 ○黒板のカードを昔遊びと今の遊びの2つのグループに分け、様々な児童に仲間分けをするように伝える。</p> <p>4 紙とんぼの実物を提示して飛ばして見せて、身近な材料の牛乳パックとストローで紙とんぼを作ることができることを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム機や漫画を読んで遊ぶことが多いよ ・一人で遊んだり、友達と遊んだりするよ ・昔遊びはあまりしたことがないよ <ul style="list-style-type: none"> ・コマ回し楽しそう。ぼくもやってみたいな ・そのほかに、どんな遊びがあるのかな。 <ul style="list-style-type: none"> ・昔遊びは、たくさんあるのだね。 ・昔遊びの中に、今の遊びも混ざっていておかしいよ ・コマやお手玉は幼稚園や保育所で使ったことがあるよ。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙とんぼは、すごく飛んで面白いね ・早く作ってみたいな ・私でも作れるかな 	<p>① 昔遊びカード</p> <p>② 昔遊びカード</p> <p>③ 今の遊びカード</p> <p>④ 竹とんぼ実物</p>
<p>身のまわりのある材料で、自分だけの紙とんぼをつくろう。</p>		
<p>5 書画カメラで紙とんぼの作り方をTVに表示して、1つ1つ作成手順を追って提示することにより児童にわかりやすく指導する。</p> <p>①軸の部分の作り方を指導する。 (担任とT.Tで児童の支援を行う)</p> <p>◎あらかじめ児童の作りにくい所は事前に作業しておく (羽の形切り、ストローの切り込み等を実態に応じて)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で作るのは楽しみだな ・ぼくにも作れるといいな <p><紙とんぼの製作の手順></p> <p>①軸で使う長さ14cmのストローを用意する。</p> <p>②ストローの軸に、はさみで1.5cm位の切り込みを1つ入れて、半分に分けて外側に折る</p>	<p>⑤ 紙とんぼの動画</p> <p>⑥ ホワイトボードの羽</p> <p>⑦ ストローの軸</p>

<p>②教師の演示から、糊ボードシートの羽とストローの接続部分の仕方を、よく確認して作るように指導する。</p> <p>○少しずつ何度も作り方を指導しながらゆっくり進めて、児童が楽しんで作れるように留意する。</p> <p>◎羽の実の接合や、羽の折り方がうまくいかない児童には、担任と協力して支援する。</p> <p>◎うまくいかない児童には机間指導をする。</p> <p>③作った作品で、どうしたら上手く飛ぶか考えながら遊ぶように伝え、以下の安全の約束も説明する。</p> <p>ア 広い場所に向かって飛ばすこと。</p> <p>イ 全員で一方向に向いて飛ばすこと。</p> <p>ウ 飛んでいる紙とんぼを手で捕まえないで、地面に落ちてから拾うこと。</p> <p>7 紙とんぼの製作ととんぼ飛ばしについて、児童の感想を聞き、話し合う。</p> <p>8 竹とんぼの羽の削ってある部分を拡大して、TVで提示して、観察したことを話し合う。</p> <p>◎教師が竹とんぼの軸を削る場面を演示して、昔の子供は遊び道具を自分で作って遊んだことを伝える。</p> <p>○自分で遊び道具を工夫して作るということをどう思うかを考えを聞く。</p> <p>○今の家庭での自分たちの遊びと、比べて話し合う。</p> <p>○自分でできない時は家族の助けを借りた事を伝える。</p> <p>9 郷土博物館4階の展示物「戦前のくらし」の写真を提示して、竹でできた生活道具を探すように促す。</p> <p>○見つけた道具は、実物を提示して用途を予想させて、用途と名前を説明する。</p> <p>◎おじいちゃんの子供のころには、生活の中でも竹を使った道具が使われていて、自分で作って使った人たちもいたことを説明する。</p> <p><まとめ></p>	<p>③牛乳パックの羽(横1.7cm×縦14cm)を半分に折る。(◎事前に児童分+予備を用意する)</p> <p>④羽の折り目をストローの中に差し込み、動かないようにセロテープで1巻きして止める</p> <p>⑤片方の羽を時計の5時の方向に折り1度戻し、もう片方の羽も同じように折る</p> <p>⑥うまく上に揚がらなかったら、上へ向けて飛ばし、羽の角度の調節してみる。</p> <p>・私のとんぼはどのようにして上手くいかないのかな</p> <p>・上に向けて回せば、よく飛ぶのがわかったよ</p> <p>・強く回せば、高く飛ぶのかな</p> <p>・うまく飛んだよ、うれしいな</p> <p>・ぼくのとんぼは高く飛んで嬉しかった</p> <p>・自分で作って面白かった</p> <p>・教えてもらったろうまくできたよ</p> <p>・本当の竹とんぼは何で削って作るのかな</p> <p>・竹は固いので、ぼくたちでは難しいけれどどうやって削るのかな</p> <p>・竹がどんどん削れていくよ、上手だね</p> <p>・自分で遊び道具が作れたら、とても楽しいね</p> <p>・難しくできなかったらどうするのか</p> <p>・昔と違って今はゲームが多いので遊び道具は買ってくることが多いね</p> <p>ア台所にある大きな丸い野は何だろう(ざる)</p> <p>イ台所にある四角い箱は何だろう(かご)</p> <p>ウ畳の部屋にある大きな四角い箱はなんだろう(葛籠・つづら)</p> <p>・今はプラスチックの道具が多いけれど、昔は竹の道具たくさんもあったのだね、びっくりしたな</p>	<p>⑧ セロテープ</p> <p>⑨ テレビと拡大カメラ</p> <p>⑩ 竹とんぼの軸</p> <p>⑪ 博物館の写真</p> <p>⑫ ざる、籠、葛籠</p>
<p>昔の遊び道具はおもしろい。竹とんぼのように自分で遊び道具を工夫して作るともっと面白い</p>		